

2026年2月13日

各 位

SBIホールディングス株式会社

シンガポールの大手暗号資産プラットフォーム  
Coinhako 社の買収に関する意向表明のお知らせ

SBIホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役会長兼社長：北尾 吉孝、以下「SBIホールディングス」、当社グループを総称して「SBIグループ」）は、その完全子会社であるSBI Ventures Asset Pte. Ltd.（所在地：シンガポール、代表者：宗英一郎）を通じて、Holdbuild Pte. Ltd.（本社：シンガポール、代表者：Yusho Liu / Gerry Eng、以下「Coinhako社」、同社グループを総称して「Coinhako Group」）に対し、資本注入および既存株主からの株式取得による買収（以下「本取引」）に向けて基本合意する意向を表明いたしましたので、お知らせいたします。

SBIグループは、本取引を通じて Coinhako 社の過半数の株式を取得する方針であり、これらの取引完了後、Coinhako は SBIホールディングスの連結子会社となる予定です。なお資本注入の具体的な手法および既存株主からの株式取得の詳細は現在協議中であり、本取引の実行に際しては関係当局の承認を前提としております。

シンガポールに本拠を置く Coinhako Group は、デジタルアセット分野のパイオニアです。主に、シンガポール金融管理局（MAS）より主要決済機関（Major Payment Institution）のライセンスを受けた Hako Technology Pte. Ltd.と、英領バージン諸島金融サービス委員会（BVI FSC）登録の暗号資産サービスプロバイダーである Alpha Hako Ltd.を通じて事業を展開しています。

本取引は、SBIグループのグローバルなデジタルアセット戦略における重要な一步となります。Coinhako Group が 10 年にわたり培ってきた取引所の運営ノウハウおよび強固なデジタルアセットインフラと、SBIグループの資本と広範なグローバルネットワークを統合することで、アジアにおける次世代のデジタルアセットの中核拠点としての地位確立を目指します。

今後は双方のシナジーを最大化し、個人および機関投資家に対し、伝統的金融と次世代金融の架け橋となるシームレスなサービスを提供してまいります。

SBIホールディングス 代表取締役会長兼社長 北尾 吉孝によるコメント：「トークン化が進む時代において、デジタルアセットのグローバルなインフラの重要性はかつてないほどに高まっています。Coinhako を連結子会社として SBIグループに迎え入れることは、単なるプラットフォームへの投資に留まりません。同社を、SBIグループが築き上げてきたデジタルアセット生態系と統合させることは、デジタルアセットのグローバルコリドーを拡大し、トークン化株式やステーブルコインを含む「次世代金融」を実現するための大きな推進力になると確信しています。」

Coinhako グループ 共同創設者兼 CEO Yusho Liu によるコメント：「SBIグループとの連携は、アジア最高のデジタルアセットのハブになるという私たちのミッションを加速させるものです。北尾氏が掲げるデジタルアセットのグローバルコリドーを作るという構想は、まさに我々の志と一致しています。SBIグループの広範なネットワークとリソースを活用することで、Coinhako は機関投資家グレードのインフラを拡大し、急増するトークナイズドアセットやステーブルコインの需要に



応えてまいります。そして、シンガポールが世界の次世代金融システムの中心であり続けるよう貢献してまいります。」

以上

\*  
本プレスリリースに関するお問い合わせ先：  
SBIホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126